

こっこクラブ、あけぼの・ひかり児童園 障がい児の通園施設改善を

「こっこクラブ」は、主に県立川越養護学校に通う子どもたちが放課後を過ごす学童保育施設です。市内の小学校にある学童保育施設と異なり、公設公営ではなく、保護者が月一回バザーを行うなど苦勞して運営をしています。現在は十六名の子どもが通っていますが、指導員を十分配置できず、一日二人ずつ交代で休まなければなりません。



老朽化した「こっこクラブ」のプレハブ施設

九六年に霞ヶ関南小学校の学童が校舎内に設置されたとき、それまで使用していたプレハブの建物を利用して活動しています。建物は老朽化が激しく、早急な建て替えが求められています。市内には他にも「あけぼの児童園」「ひかり児童園」といった、障がいを持つ子どもたちが通う施設がありますが、利用者が増加する一方で施設が狭くなっている現状があります。

老朽化で危険！早急な建替えを

十二月市議会の一般質問では、老朽化している「こっこクラブ」は急いで建て替える必要があると指摘しました。市は、「県の動向も見ながら、早急に対応する」と答えました。ひかり児童園については「施設検討会議が設置されており、議論されている。移築を含めて検討していく」としています。

市民の目線で暖かい市政めざし 今年も全力投球します

新年おめでとうございます。

昨年は市議選、参議院選など、みなさんの暖かいご支援を頂きありがとうございました。



いま市民・公明は、たび重なる庶民増税、後期高齢者医療制度をはじめ、福祉や社会保障を削減する冷たい政治をおこない、国民のくらしを苦しめています。

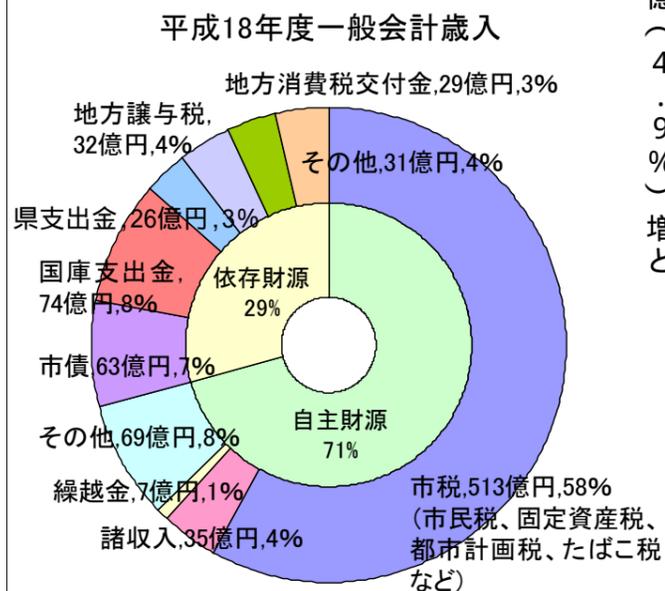
「こんな政治を良くしたい」と昨年一年がんばってきましたが、くらしを良くするには、国の政治を根本から正す必要があることを痛切に感じました。今年は、いつ総選挙がおこなわれてもおかしくない情勢です。日本共産党は、貧困と格差をただし、生活防衛の大運動を呼びかけています。憲法九条を守り、平和で安心して暮らせる社会を実現するため、みなさんのご支援をお願いいたします。

市民の目線で暖かい市政をめざし、初心を忘れず、今年も全力投球でがんばります。最後に、みなさんのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

税金はどのように集められているのか？

シース 税金の 使われ方②

前回、「税金はどのように使われているのか？」考えてみました。今回は、市の税金はどのように集められているのか（歳入）見てみましょう。



川越市の18年度収入（一般会計の歳入総額）は、約884億5千万円で、最も大きな割合を占めるのは、市税で全体の58%を占めています。二番目に国から入る国庫支出金8.5%、三番目に市債（市の借金）7.2%などと続いています。市税収入の約半分を占める市民税は、17年度と比較すると約32億（4.9%）増となっています。これは一定の景気回復により法人市民税がのびたことに加え、定率減税と高齢者の各種控除の廃止・縮小による増税が行われたことで個人市民税が増収になったためです。日本共産党は、増税により増収になった分は、負担が増えている高齢者や、医療費の負担軽減などの施策に使うように主張しています。

日本共産党 市議会議員 かきた有一 市議会報告

2008年1月

発行 日本共産党議員団
連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636)
ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市小堤306番地5 電話 233-8369
FAX 020-4669-8696 E-Mail mail@kakita.ac